

平成 23 年度 認知症高齢者の見守りネットワークの始動について

高岡市では、平成 22 年度より増え続ける認知症高齢者対策として、認知症高齢者と家族を支えるための事業に取り組んできている。

平成 23 年度、この認知症への対応（予防、早期発見、ケア等）を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互に連携しながら有効な支援を行う体制づくりを 4 月にスタートした。

< 主な事業 >

1 専任認知症コーディネーターの配置

認知症高齢者のサポート体制の充実を図るため専任の認知症コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、地域におけるネットワークの構築の推進や認知症に関する専門的な助言などを行う。

2 「認知症介護応援マップ」の作成・活用

認知症コーディネーターが中心となって、地域資源マップを基に日常生活圏域ごとの地域資源（医療機関や介護サービス事業所等）の情報をさらに集約しながら、それぞれの地域の住民や関係機関（認知症相談機関等）へ情報提供し、支援につなげる。

3 「徘徊 SOS ネットワーク」の構築

徘徊高齢者の早期発見と安全確保のため、平成 22 年度に徘徊 SOS ダイアルシステムを設置したところである。このシステムの活用により、365 日・24 時間体制で警察や消防署、バス・タクシー会社、ガソリンスタンド、コンビニ等の協力により、徘徊高齢者の早期発見につなげる。

4 認知症高齢者支援サポートチームの設置

認知症コーディネーターが中心となり、ひとりの認知症高齢者を複数の支援者がそれぞれの役割を分担するための構築会議を開催する。チームが相互に連携しながら、見守り、声かけをはじめ生活支援などを行う支援サポートチームを設置していく。

5 「高岡いきいき倶楽部」(新認知症予防講座)の開始

認知症予防に関心がある人、あるいは物忘れの自覚がある人などを対象に、小グループの単位で、知的活動・運動プログラムを組み合わせ提供し、一定期間、継続的に実施する「高岡いきいき倶楽部」を開催する。また、事前事後に、参加者の改善度や有効なプログラムの分析をすることにより、事業の効果を評価していく。